

# KOCHI 2014 ROTARY 2015 CLUB SINCE 1937



## 週報



Weekly report

第3206回  
第3207回

2015年2月17日

2015年2月24日

2015年3月3日発行

### ● 会長挨拶

皆さんこんにちは。梅の花も咲き始めました。2月も第3週となり、桃の節句の話題が聞かれることとなりました。

先日の日曜日(15日)開催の高知龍馬マラソン2015に参加、運営に携わられた皆様、本当にご苦労様でした。晴天に恵まれ、6,543名の参加を得ての素晴らしい大会となりました。これからも春の訪れを告げる高知の恒例行事としての発展をお祈りいたします。完走されたロータリアンの方より後ほどニコニコでのご報告があると期待を致しております。

2月はバレンタインズデー、たくさんのチョコレートが売れたようですが、チョコレートをプレゼントされた方、もらった方のニコニコも歓迎します。アメリカでのバレンタイン



ズデーは、女性から男性へのプレゼントを贈る日本とは少し異なって、バラの花を携えた男性が闊歩する姿や、フォーマルな服装で夕食を共にするカップルで賑わい、Happy Valentine's Day という挨拶が交わされるこの時期、ニューヨークの高級レストランの予約は難しく、また赤いバラの花は通常の2倍の値段になるとニュースで伝えられておりました。

さて、経済面の話題としてIT関連産業の事業展開は目覚しく、ネット通販のアマゾンが店舗販売を追い越したことや、アップルの電気自動車開発参入など、時代の変化を感じます。ロータリークラブにおいても、例会をネットベースで行うロータリーEクラブも注目されつつあり、私たちの職業奉仕も、これらの環境変化を勘案する時期がきているように思います。

本日は 高知銀行取締役の海治勝彦会員の卓話です。皆さま、どうか楽しい懇談の一時をお過ごしくださいませ。

### 国際ロータリー創立記念夜間例会



### ■本日のプログラム [ 3月3日 ]

会員スピーチ

ロータリー財団卓話 津野真千子会員

「非行少年の再非行防止と立ち直り支援活動について」

会	長	西山 彰一
副	会 長	野村 茂
幹	事	吉澤 文治郎
副	幹 事	小笠原 晃男
会	報責任者	安藤 一臣

2月17日 例会

● **ロータリーソング**「我らの生業」

● **今週のピアノ曲**「サン・トワ・マミ」

ピアノ演奏：山内りり会員

● **来訪ロータリアン**

高知西RC 森光恵三氏

● **次年度ロータリー財団委員会より**

ロータリー財団の地区補助金が具体的に何に使われているか、本日、各テーブルにお配りした資料に詳しく掲載されていますのでご覧ください。高知クラブは、社会奉仕委員会の非行少年の再非行防止及び立ち直りを支援するプロジェクトに活用しています。

次年度、この補助金を活用するには3月31日までに地区に提案書を出す必要があります。今年同様に活用したいと考えていますので、補助金を希望する委員会がありましたら、筒井までお問い合わせ願います。

● **会長報告**

- ・1月19日の会長幹事会において、ローターアクトクラブへの年間分担金の値上げ要請があり、検討の結果、会員1人現行1,000円から500円の値上げで1,500円とさせていただきます。追加請求は4月となります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- ・2月28日 安芸RC主管のIMに関して、行きは高知発11:19、帰りは安芸発19:37のJRがあります
- ・寺田寅彦記念館友の会会長、山本健吉さんが銅像建立についての趣旨書を事務局に持参、ご挨拶がありました。

● **幹事報告**

- ・2月24日は創立夜間例会で、18時30分からです。
- ・例会終了後、臨時理事会を行います。

● **会員スピーチ**

**地域金融機関としての取り組み**

高知銀行 取締役 海治 勝彦 会員

高知銀行は昭和5年1月、当時の本山町産業組合の組合長だった大石泰象氏が中心となって嶺北地区や高知市の有力者により高知無尽株式会社として設立されました。昭和26年、相互銀行法の施行に伴い高知相互銀行と商号変更、平成元年2月、相互銀行が普通銀行に転換、



「高知銀行」となります。平成26年9月末で預金8896億円、貸出金6614億円。経営理念は「熱意、調和、誠実」。ビビッドカラーの赤は郷土高知を照らす太陽、熱意の姿勢。緑は穏やかにそびえる山々と調和。青は太平洋で踊る黒潮と誠実の精神を表現。シンボルマークの右上の青は地域の皆さま、右下の緑は地元企業、それらのニーズを支える、受けとめるということが高知銀行を左の青で示しています。

店舗は地元高知県をメインとして四国島内を主な営業基盤と位置づけて、高知県に58店舗、徳島3店舗、愛媛6

店舗、香川1店舗。あと東京、大阪、岡山、全71店舗を配置。キャッシュサービスコーナーは185カ所、245台。高知県内の店舗は高知県警と連携して、地域の子どもの安全シェルターの意味合いを込めて、子ども110番の銀行ステッカーを貼って取り組んでいます。

21世紀に入って日本の人口は減少しはじめ、2046年には1億人を割り込み、2100年には4,959万と、200年前とほぼ同じ水準まで減少すると予測されています。高知県は2040年には現在より30%以上の人口減で、これは秋田、青森に次ぐ3番目、高齢化比率は宮城、青森に次ぐ3番目。これらを踏まえての、金融行政の考え方として、昨年12月、政府により閣議決定された地方創生に向けた長期ビジョンと総合戦略があります。その中で、地域金融機関に求められている地域企業応援パッケージの政策メニューがあり、これに積極的かつスピード感を持って取り組んで欲しいというものです。さらに金融庁が新たなモニタリングレポートとして、我々のような地域金融機関が金融仲介機能を十分に発揮することによってお客さまの成長、発展につながる。ひいては金融機関の安定的な収益確保、より高度な金融仲介機能を発揮するといった好循環が求められており、そのための金融システム、金融機関の健全性の維





持が言われています。

高知銀行の中期経営計画の中で重点として掲げている地域密着型金融の推進につながるような方針、施策として、まずは取引先に対するコンサルティング機能の強化、地域の面的再生への積極的な参画、地域や取引先に対する積極的な情報発信。こういったことにより、地域経済の活性化に少しでも貢献していきたいと考えています。その具体的な取り組みの1つは、地方公共団体との連携。平成24年1月、高知県と業務連携協力に関する包括協定を締結し、高知県産業振興計画と一緒に産業の振興につながる取り組みを行っています。プラス、県内市町村とも地域再生活活性化支援に関する連携協力協定を現在9市町と締結しています。今後順次増やして、最終的にはオール高知で締結して地域活性化に向けた取り組みを行っていききたいと思っています。

2つ目が成長分野の支援。農業、商工連携、医療・介護、食品関連、製造関連、観光といった成長が期待できる分野に対する融資ファンドとして平成22年10月に100億でビビッドファンドを創設。現在500億まで増額して、地域の皆さまに金融面からも支援をしています。さらに、お客さまの商売の支援としてビジネスマッチング等の業務で、地域産品商談会、東京ビジネスサミットフードショー等々の商談会に地元企業の出展支援も行っています。産学連携

面では、高知高専と連携して、先生方の持っている研究成果を地元の企業に紹介して、技術開発のマッチング等々につなげていくためのシーズ発表会を平成18年から毎年開催しています。また、昨年10月、県内3大学と高知高専と提携し、ベンチャー支援、創業新事業の支援に対する融資ファンド、高銀産学連携ファンドを創設しました。

さらに本業部分だけではなく、スポーツをはじめいろいろな意味で地域の皆さんと一緒にやっていきたいということで、サッカー教室を平成22年から開催しています。高知大学サッカー部と当行のサッカー部が連携して、昨年の5回目には、黒潮町、野市町、春野の3カ所で開催しました。また、「こども金融・科学教室」として、当行の職員が講師になった金融教室、高知高専と提携して、科学に親しみながら学ぶ実験教室を平成20年から開催しています。地域イベントとしては、よさこい祭りへ参加、龍馬マラソンでは給水所を運営しています。高知家キャンペーンへの協力では、県外の13店舗の支店長を移住支援特使に任命し、県外店舗の入口には高知家の表札を掲げ、ロビーでは高知家のビデオを常時放映しています。

これからも、さまざまな活動を行い、地域社会の発展に少しでも貢献できるような取り組みができればと思っています。

## 2月24日 国際ロータリー創立記念夜間例会

### ● ロータリーソング 「君が代」「四つのテスト」

### ● 会長挨拶

皆さんこんばんは。先週末は著名な漫画家の方々が高知に集い、漫画王国高知への期待が高まる懇談の機会があったとの事でした。また、3月7日から15日までは町中が宴の場となる「土佐のおきやく2015」が開催されます。すでに3月7日の観光特使を囲んでの会に申し込んでいる方もいらっしゃると思います。春の訪れを告げるこの時期、素晴らしい出会いがあることを楽しみにしています。

本日のロータリー創立記念夜間例会は、1905年2月23日、ポール・ハリス、ガスター・バス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日を記念するもので、世界中のロータリークラブで創立110年のお祝いの集会在持たれています。今晚は、ロータリークラブの活動の理念と由来、世界的に有名なロータリアンと職業のかかわりについて、私が入手した資料に従ってご紹介します。

私たち会員の行動基準となっている四つのテストとともにさまざまな場所で登場する、2つの標語「超我の奉仕 Service Above Self」と「最もよく奉仕する者、最も多く報われる One profits most who service best」について振り返ってみたいと思います。「超我の奉仕」はポートランド大会に参加していたB. フランクコリンズ（ミネアポリスRC会長）がJE. ピンカム（シアトルRC）との間で正しいクラブ結成のありかたについての話の中で、自らのクラブが採用している“Service, Not Self”（無私の奉仕）という考えを紹介、講演によって認知され、反響を呼んだものです。時は過ぎて、Service Not Self が Service Above Self となり、無私のロータリー精神を最もよく表現しているという理由から1950年のデトロイトでの国際大会において、ロータリーの第1標語として採用されました。

2つ目の One profits most who service best の原案である He Profits Most who Service Best は2004年の規定審議会において、They Profit Who Service Best に変更後、2010年の規定審議会にて現在の One profits most who service best となったと記録されております。

歴史的な著名人である、チャーチル首相、サッチャー首相、ケネディー大統領、ブッシュ大統領もロータリー会員でした。大統領や首相など政治家としての会員資格で入会したわけではなく、既に就任以前の生業により推薦され入会したとの事です。ロータリーは標準定款で、政治家など「一定の任期の間、選挙または任命によって公職にある者は、当該公職の職業

分類の下において正会員の資格を有しない(裁判官・大学教授等は除く)」とされており、ロータリークラブの政治的中立性の保持を掲げています。

本日は、2011-2013 米山奨学生(南RC)で、高知大学医学部研究生のムセンボ・バシルア・アンドレさん、2014-2015 年度短期交換派遣学生、土佐塾高等学校1年生の高野小町さん、燦燦基金奨学生、高知大学教育学部学校教育教員養成課程1年生の山中貴博さんをお招きしております。また、記念講演として広末幸彦前会長にお話をさせていただきます。

本日の国際ロータリー創立記念夜間例会が皆さまにとって楽しく、意義深いものでありますようお願いし、開会の言葉とさせていただきます。

## ●お客様

2011-13 年度米山奨学生 ムセンボ・バシルア・アンドレさん  
2014-15 年度短期交換派遣学生 高野小町さん(土佐塾高等学校1年)  
燦燦基金奨学生 山中貴博さん(高知大学教育学部 学校教育教員養成課程一年)

## ●幹事報告

- ・フィリピンバナイ島小学校修復プログラムに当クラブから33,781円の寄付を行いました。徳島RCの泊会員よりお礼と、3月5日から7日、観音寺RCと一緒に現地見学のお誘いが来ています。詳細は事務局まで。
- ・IMへの参加の交通手段を検討中です。決まり次第ご連絡します。
- ・情報集会の希望曜日のアンケートに記入をお願いします。

## ◆ゲストスピーチ

### ◎ムセンボ・バシルア・アンドレさん

私は留学当時の生活は大変でしたが、米山奨学生になってから生活はよくなり、しっかり勉強することができました。ロータリーの皆さんには心から感謝申し上げます。

私は42歳、コンゴ民主共和国からまいりました。コンゴはコンゴ共和国とコンゴ民主共和国の2つがあり、民主共和国はフランス、ベルギーの植民地、共和国はフランスの植民地でした。コンゴは大きな国で鉱物も多くありますが、まだまだ豊かな国ではありません。日本のように平和な国でもありません。季節は9月から5月までの雨季と6月から8月までの乾季の2つで、雨季の1番熱い時は42度、乾季は22度ぐらいです。平均寿命は55歳ぐらいです。貧富の差が大きく、私がかもし政治に関わるようなことがあれば、この点について考えてみたいと思います。

日本にきて7年になり、今回は2回目です。最初は2006年東京で結核とエイズの治療を学びました。1度国に戻りましたが、じん肺への興味が出て再び日本にきました。現在は高知大学医学部の研究生で博士号をとりたいと思っています。家族は妻と子ども4人と妹がいます。将来は、コンゴに帰って教授の仕事やヘルスケアの仕事をしてみたいと思っています。



### ◎高野小町さん

私の家族は、以前、タイの留学生を4カ月、ロータリー短期交換留学生を2人受け入れをしました。また、祖父母も20年程前にロータリーのチームリーダーや長期留学生を受け入れたことがあると聞きました。

私は3週間アメリカに滞在し、1週間ずつホストファミリーと一緒に泊まる学生が変わり、平日は観光、週末はホストファミリーと過ごしました。私はホストファミリーと過ごす時間が好きでした。1週間目のホストファミリーはもう何十年も受け入れをしている家族で、今まで受け入れた学生の写真やお土産を嬉しそうに見せてくれました。

2週間目の家庭は2人の可愛い小学生の男の子がいました。私の弟と同世代で、毎晩小学校の話をしたり、折り紙を教えたり、とても楽しく過ごしました。ホストファザーがコロンビア、マザーはドイツ人で、それぞれ自分の国のことをたくさん話してくれて勉強になりました。現地の学生と交流する機会もあり、日本に興味を持っている人がたくさんいて嬉しかったです。外国の学生と話す機会は新鮮で印象に残っています。

3週間目は、去年日本に交換学生で来た学生の家庭で、私たちのことをよく考えていてくれて、ニューヨークのブロードウェイに連れていってくれたり、英語のDVDを見せてくれました。ホストマザーは料理が得意で、お手伝いをさせてもらいました。





どのホストファミリーも親切で、最後にはみんな「いつでもまたおいで」と言ってくれました。今でもフェイスブックやメールで連絡を取り合っていて、この留学で出会った人たちとの絆をこれからも大切にしたいと思います。

相手の英語が分からなかったり、自分の言いたいことを十分に伝えられなくて困ったこともありました。私たちが大人になる頃は、英語は話せて当たり前になると言われていますが、そんな時代に負けないようにこれからも努力し、英語の勉強にも励み、留学生の受け入れなども積極的に行っていこうと思います。

ロータリーの皆さまのお陰でこのようなチャンスが与えられ、とても有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

◎山中貴博さん

大学に入って1年が経過しました。入学当時は慣れない環境で大変でしたが、今はとても楽しく過ごしています。

私は、県外はもちろん高知県内の大学にも行けるか行けないかぐらいの家庭事情でしたが、ロータリークラブに援助をいただき大学に進学できました。将来は学校教員を目指しており、今年1年、さまざまな子どもと関わる場面がありました。その中で、まだまだ自分に至らない点があることに気づかされ、来年以降も、学習者としてさまざまなものを学んでいきたいと思っています。ありがとうございました。



◆ 記念講演 広末幸彦会員

先ほどの3人の方のお話を聞いて、ロータリーは素晴らしいことをしていると改めて思いました。昨年、会長の時、燦燦基金の奨学生として山中君の面接もしました。彼は余り喋らずにもじもじしているだけでしたが、審査員が涙するぐらい一生懸命さが伝わってきました。そこで、私が責任を取るから何とか3人取ろうということになりました。1年経って、先ほど彼が話をしている姿を見て本当に嬉しいです。

そんなことで、私は責任もありますので例会に出席の度に燦燦基金に1000円入れています。皆さんにもそうして欲しいとは言いませんが、ぜひ協力をお願いします。失礼ですが、困窮して大学に行けない子どもが、燦燦基金の1万円に感謝して、こういうところで話をする。それは彼らにとっては、1万円以上のプラスになると思います。

人が生まれて死ぬまでにはいろんな出会いがあります。両親、兄弟、親戚、学生時代の友人、職場の人たちと知り合って、幅を広げていくことが知らず知らずのうちに自分の力になっていると思います。そういう意味でも彼らが大学に行くことはとてもプラスになっている。それを助けているロータリーのメンバーは素晴らしいと思いますし、私はロータリーに出会えて良かったと思います。私は今年61歳になりますが、ロータリーに在籍して27年。人生のほぼ半分を異業種の方々とお付き合いする機会をいただいていることとなります。通勤族の方々との交流も財産です。これからも、ロータリーを続けたいと思っています。

私の人生を振り返ると厳しい時もありました。京都の大学を中退して高知に帰って卸しの仕事をしてきました。室戸から宿毛、城辺まで営業で回りました。そんな中で千頭さんに出会い、いろんなところに連れて行ってくれました。

昭和58年、うちの店が火災に遭い全焼しました。商品も家財道具も全部焼けてしまいました。女房の里のお袋が、全財産をつぎ込んで揃えた着物が全部焼けた。けど、幸いにも家族にケガがなかったことは良かったと言って済ませてくれました。焼けて、まだプスプスとくすぶっている時、千頭さんがお見舞いに来てくれて「広末君、気を落とさずに頑張りよ」と言ってくれました。それが転機となって考えが変わり前向きになりました。そこではたと気が付いたのが、千頭さんは設計士だったということです。それから2年間、千頭さんと商業ビルやモール等々、あちこち見学してできたのがアベニューです。1階に入っているマクドナルドは、本社まで行って高知にないから出店をお願いしました。アベニューは今年の11月22日で30年になります。当時からすると商店街も非常に厳しい状態です。売上も地価も下がっていますが、これからも前を向いて頑張っていこうと思います。

人生にはいろんな形の出会いがありますが、そんな出会いをつくづく大事にしていかなければいけないと感じています。ロータリー、出会いをありがとう！



◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
2月24日	91	53	17	11	79.01
2月10日	(-13)91	57	4	17	94.87

### ◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	3月18日	ロータリー休日(阪)	高知北RC	3月23日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	3月24日	ロータリー休日(旭)	高知南RC	3月26日	花見例会(阪)
高知中央RC	3月26日	花見夜間例会(城)	高知北RC	3月30日	花見夜間例会(三)
高知RC	3月31日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	3月31日	花見例会(旭)

※サインメーカーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

### 😊 ニコニコ箱 [2月17日]

- 佐竹 新市** 遅くなりましたが、誕生日に素敵なお花をありがとうございます。今のところまだ順調です・・・多分。
- 熊野 裕二** 西山会長の督促に従いまして、龍馬マラソン完走をご報告させていただきます。よくタイムを聞かれるのですが、「ゴルフのスコアと一緒に聞くのはやばです」とお答えするようにしています。まあゴルフに例えると150くらいでしょうか。でもマラソン完走は5回目ですので、A会員、O会員と違って足はいたって大丈夫です。
- 関 雅文** 高知龍馬マラソンに参加しました。結果は4時間40分で完走しました。応援をいただきました皆さま、ありがとうございます。完走できましたが、年々身体に残るダメージがひどくなるのを感じ、ちょっと辛いです。
- 有馬 義雄** 高知龍馬マラソン、完走させていただきました。35キロを超えてから沿道の応援が「ガンバレ」から「あきらめるな」に変わり、休ませてもらえませんでした。高知の皆さんの愛ある厳しさにニコニコします。
- 岡本 光浩** 妻の誕生日にお花を手配していただきありがとうございます。単身赴任8年目になり、ほとんど一緒に誕生日を祝ってあげていないので、今年はお花に便乗してプレゼントを贈りました。誕生日当日の反応が楽しみです。また、日曜日には初めてマラソンにチャレンジしました。たくさんの方々応援していただき、無事、高知龍馬マラソンを完走することができました。感謝の気持ちを込め、いまだびくびくする筋肉痛に耐えながら頑張っってニコニコします。
- 吉原 馨** 先週11日(建国記念日)には、我が故郷の仁淀川町別枝の“秋葉祭り”に、高知ロータリーから西山会長ご夫妻ほか数名の方が、遠いところにも関わらず見物にお出でくださり、お目にかかれ嬉しかったです。好天に恵まれ祭りの参加者と1万人の見物客ともにホッとしたことでした。来年も2月11日ですので、ぜひまた見に来てください。
- 安光 保二** 2月度33会ではからずも優勝です。嬉しくなってニコニコです。
- 広末 幸彦** ちょうど本日が妻の誕生日です。60歳還暦になります。お花の手配ありがとうございます。お代の一部です。
- 吉門 文恵** 多くの皆さまのご協力のもと、今年も就職ガイドブック「高知の企業」を発刊することができました。ありがとうございます。青少年の皆さん及び高知県の活性化に少しでもお役に立てればとても嬉しいです。皆さまのボックスに入れさせていただきました。ご活用いただければ幸いです。早いものでこの冊子は、発刊47年目となりました。本当にお陰様で私の青春もこの本とともに消えてしまいました。嬉しい気持ちいっぱいです。ニコニコします。
- 津野真千子** ダイザー葬儀社様で、親友のご葬儀をとり行っていました。500人の参列者一人一人に行き届いた対応をしてくださり、厚く御礼申し上げます。大久保会員の立派な“のりと”にも感動いたしました。ロータリーって素晴らしい!を実感しています。
- 竹村 修己** テレビ高知では開局45周年記念として、人気番組「何でも鑑定団!」の出張!なんでも鑑定のテレビ収録を本年5月23日(土)に安芸市民会館で行います。ご自宅で眠っているお宝の値段が知りたい方はぜひ応募願います。詳しくはテレビ高知のHPをご覧ください。締切は3月1日(日) テレビ高知必着です。お待ちしております。

### 🌸 3月のお祝い

- (会員誕生日) 松岡宣明 野村 茂 伊丹由美 千頭邦夫 野村茂久 佐野研治 各会員  
 (配偶者誕生日) 泉田節子 浜田理都子 安光紀保子 尾崎真由美 美馬美裕貴 各会員配偶者  
 (結婚記念日) 西山俊彦 尾崎典之 久場幸信 津野真千子 久松朋水 川添 昇 各会員

### ● 累計額 [2月24日現在]

ニコニコ箱	817,600円	ロータリー <small>さんさん</small> 基金	169,033円	ポリオ募金	344,400円
-------	----------	------------------------------	----------	-------	----------

### ■ 次週のプログラム [3月10日]

ゲストスピーチ 識字率向上月間卓話  
 地区世界社会奉仕委員長  
 森本奈津子氏(徳島南RC)  
 「世界社会奉仕の実践から感じる識字率について」

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>